

## 株式会社つかもと

認定テーマ名：「低カロリー芋甘納糖」開発プロジェクト

## 1. 認定を目指した経緯

株式会社つかもとは茨城県龍ヶ崎市にある創業75年、昔ながらの伝統製法「直火炊き」にこだわった甘納豆製造業者である。認定事業では茨城県の地域資源「かんしょ」（さつまいも）を利用した、低カロリーの芋甘納豆の開発に取り組んでいる。認定の経緯として、甘納豆商品は、昔から食されている菓子ではあるが、時を重ねるにつれて購入されるお客様が高齢化していると同時に、茶菓子のイメージが強いため若い方になかなか受け入れられない現状があった。当社としては、若い客層を取り込んだ商品開発に課題があった。市場調査を行うと、市場は健康ブームであるが、当時は地域資源である「かんしょ」を活用してカロリー抑えた甘納豆を作っている事業者は無かった。そのような中で、茨城県観光物産協会の勉強会で茨城県の産業政策課から、地域資源施策の説明を受けたのを機に、カロリーを低減した「低カロリー芋甘納糖」の新商品開発に本格的に取り組む、平成19年10月に国の地域産業資源活用事業計画の認定を受けることになった。

## 2. 認定事業の現況

認定を取得したのちに、茨城県産のさつまいもと紫芋を活用して、砂糖を一切使用せずに従来の砂糖使用品に比べカロリーを30%低減させた商品開発を行うことに成功した。同時に、若い方に食べてもらうために新たな市場開拓するためのネーミング、パッケージデザイン等のプロモーションを含めた商品開発もする必要があった。これについては、中小企業基盤整備機構のマネージャーを通じて神奈川県相模原市にある相模女子大学に協力を要請したところ、大学側も協力することを快諾して共同開発することになった。こうして女子大生と老舗企業とのコラボレーションにより完成したのが、予備軍も含めて1,800万人とも言われるカロリーコントロールが必要なユーザーや、若い女性が小腹を満たす時に食べて頂くことも狙った、携帯サイズの「imoshoku」商品である。

図表1 相模女子大と共同開発した「imoshoku」



「imoshoku」は平成21年11月から販売を開始し、最終的には着手から約2年の歳月を費やして商品化を実現した。その後は、補助金を有効に活用して、フードセレクションやフードックス等の展示会へ積極的に出展してPRを行い、商談の機会を増やした。さらには、認定を機に平成22年10月2～3日に岐阜県で開催された「APEC 中小企業大臣会合」で日本の事業事例の代表として、茨城県出身の大畠産業経済大臣（当時）から紹介して頂いた。他にも、民放テレビ（BS朝日等）、ラジオ（ニッポン放送等）、各新聞等のパブリシティで認定事業が取り上げられ、広くPRすることができ、同社としても非常に驚くほど、今までにない経験をする事ができた。認定事業で開発した「imoshoku」を切っ掛けにして、販路について生協やコンビニエンスストア、薬局、高級スーパー等の販路も広がり、さらに既存事業の商談も決まるようになり、相乗効果を得ることができた。

最近でも相模女子大学との連携は続いており、認定事業の取組みは相模女子大のプロモーション活動にも活用され、広告宣伝として取り上げられた。

図表2 相模女子大で使用された広告宣伝ポスター



### 3. 利用した中小機構の支援策

#### ① 「R i n」での商談会

中小企業基盤整備機構が運営していた「R i n」で商談会が開催された時に、成城石井が中小企業基盤整備機構のパートナー企業として参加しており、商談を行った結果、取引が開始された。現在では、「imoshoku」以外の既存事業の取引も行っており、定期的な催事も行われるようになった。

## ②機会を掴める情報提供の活用について

認定された後には、中小企業基盤整備機構等から有意義な情報提供が同社にされるようになった。例えば、武蔵小山パルム商店街やハッピーロード大山等で行われた販売イベント参加を行った。さらに、「地域資源セレクション」での無料ブース出展等の情報を活用して積極的に参加することにより、PR活動を行うことができ、商売に繋げることが出来た。同社は、今までどの展示会にも出展したことが無かったが、中小企業基盤整備機構の支援により、新事業展開成功の道筋をつけることが出来るようになった。

## ③交流による人脈の広がりについて

茨城県内の認定事業者の交流が積極的になったことで、加工等の依頼が増えたことはもちろんのこと、中小企業基盤整備機構が主催する交流会などにより、他県の事業者とのネットワークが広がった。また、中小企業基盤整備機構のアドバイザーによる販路コーディネートなども奏功し、商売を含むネットワークが認定を取る前と比べ物にならないほどに広げることが出来た。

## 4. 今後の展望（見通し）

今後の展望としては、「imoshoku」を活用して、販路を引き続き開拓していくことを継続的に行っていく。また、地域産業資源活用事業計画の認定を得た経験を踏まえて、農商工等連携事業計画の認定も取得することができた（平成24年10月認定）。これは、福島県のJAみちのく安達と連携した新規事業であるが、これも相模女子大学からの紹介から始まった新規事業である。福島県復興に少しでも役に立てればとの思いで始めた連携事業であるが、次はこれを成功させて行きたい。

## 5. 企業概要

事業者名	株式会社つかもと		
本社所在地	茨城県龍ヶ崎市光順田 181		
ホームページアドレス	<a href="http://www.ama710.com/">http://www.ama710.com/</a>		
設立年月	昭和11年9月		
資本金	10,000千円	従業員数	30名
売上高	全体 189,000千円、認定事業の売上高 10,000千円（累計）		

※平成24年5月31日現在

## 6. 認定事業の概要

テーマ名	「低カロリー芋甘納糖」開発プロジェクト
テーマの概要	地域資源である甘藷を活用し、甘納豆製造の伝統技術を利用し若い市場を開拓する新商品開発事業。
認定期間	平成19年11月1日～平成24年5月31日